



ながの

長野家畜保健衛生所  
北信家畜畜産物衛生指導協会  
〒380-0944 長野市安茂里米村1993  
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665  
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

管内の酪農家でPI牛が  
1頭摘発されました！

## 牛ウイルス性下痢対策をしましょう

### ○牛ウイルス性下痢(BVD)とは？

- ・牛ウイルス性下痢ウイルス(BVD ウイルス)に感染し起こる病気です。
- ・通常は下痢、呼吸器症状など一過性で回復します。
- ・妊娠牛に感染した場合は、流産、産子の異常など繁殖障害を引き起こします。

また、胎子の胎齢によっては、産子が**持続感染牛**となります。

### ○持続感染(PI)牛とは？

- ・生涯 BVD ウイルスを排出し続け、自農場内をはじめ当該牛の移動等により他農場への汚染源となります。
- ・虚弱や長期不受胎などを示し、まれに粘膜病を発症し死に至ることがありますが、健康牛と見分けがつかないこともあります。
- ・PI牛から生まれた子牛は、PI牛となります。
- ・治療法はないため、PI牛の摘発淘汰が重要です。

### 対策のポイント

(1)PI牛早期摘発のため、検査を実施しましょう。

酪農家：年2回バルク乳での遺伝子検査、出生牛・導入牛の検査

肉牛繁殖・一貫農家：農場全ての牛の検査、出生牛・導入牛の検査

(2)BVD ウイルス感染予防、PI牛の産出リスク低減のため、ワクチン接種をしましょう。

↓妊娠牛に生ワクチンは接種しないでください。産子がPI牛となる可能性があります。

令和5年度ヨーネ病検査で採材する血液で BVD 検査も実施可能です(申し込み、検査料金は別途必要です)。是非ご検討ください。

ご不明点・ご相談等がありましたら、当所までお問い合わせください。

